

日本遺跡学会 学会誌「遺跡学研究」への投稿について

日本遺跡学会では、『遺跡学研究』への投稿原稿を募集しています。

投稿規定は、会員の皆様により分かりやすく、また投稿しやすくするために2025年度に改定いたしました。改定に伴い、採択された原稿は『遺跡学研究』に掲載するとともに、「全国文化財総覧」にて随時公開します。

下記の投稿規定に従って応募してください。会員の皆様のご応募お待ちしております。



＊ 2019年にデザインリニューアル

投稿規定

- 1 投稿資格：投稿者は本学会員に限る。ただし、共同執筆者には非会員を含むことができる。
- 2 投稿条件：原稿には学術的に価値があり、未発表のものに限る。ただし、下記のものについてはこの限りではなく、掲載することができる。
 - ①本学会大会で口頭発表したもの
 - ②研究会、シンポジウムなどで資料として用い、審査を受けていないもの
 - ③編集委員会が適当と認めたもの
- 3 原稿の区分：投稿原稿は下記の区分
 - ・ 研究論文……学術的研究・調査に関する論文
図表込みで刷り上がり12頁までとする。
 - ・ 研究ノート…学術的研究・調査に関する報告、
論説、技術報告、実践事例の分析など。
図表込みで刷り上がり8頁までとする。
 - ・ 自由投稿…遺跡・文化遺産に関するデータ、
情報提供、事業紹介等。
図表込みで刷り上がり10頁までとする。
- 4 原稿の取り扱い：編集委員会は投稿原稿を整理し、研究論文については、編集委員会が会員より査読者を決定し、査読結果に基づき原稿の採否を決定する。研究ノートと自由投稿については、編集委員会が掲載の採否を決定する。編集委員会は原稿の修正を求める場合がある。また、採択された原稿は『遺跡学研究』に掲載するとともに、「全国文化財総覧」(<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>)にて随時公開する。
- 5 著作権：掲載論文の著作権は筆者が有するものとし、その編集著作権は日本遺跡学会が有するものとする。
- 6 投稿上の注意：投稿にあたっては別に定める執筆要領に従うこと。
- 7 付則：この規定に改訂の必要が生じた場合は運営委員会の承認を受けて変更することができる。なお、執筆要領はこの限りではない。

執筆要領

＊**提出**：原稿は電子データファイルをEメール添付にて、日本遺跡学会代表メール（isekig-n@jsch-iseki.jp）に提出する。

＊**体裁**：A4横書き、24字×39行の二段組み、9ポイント。

＊**割付**：1頁目は、15行目まで表題、英文表題、筆者名、英文筆者名が配置されるため、16行目から本文をはじめること。必要な図、表、写真は適当な位置に配置し、刷り上がりを想定した割付にすること。

＊**項目**：別添の原稿ひな形に準じて作成すること。

〈表題、筆者名、筆者所属、英文表題、英文筆者名、英文筆者所属〉

表題は内容を的確に表現するもので副題のある場合も含め、計40字以内とする。

〈キーワード〉

日本語および英語で、各5語以内（的確かつ簡潔な表現とすること。）

〈本文〉

見出しは、1. XXX（行かえ）、(1) YYY（行かえ）、1) ZZZ（行かえ）として統一する。

〈図・表・写真〉

図・写真は、掲載に堪える鮮明さを確保した解像度にて作成すること。

図・写真のキャプションは下、表のキャプションは上とし、各1行とする。

〈補注および文献〉

補註・文献等は本文該当箇所の右肩に1)、2) ... を記し、論文末に一括して記すこと。引用文献・参考文献は、著者名、公刊西暦年号（半角）、表題、掲載誌名、巻（号）、頁（半角）。ただし、単行本の場合は書名、発行所名を記入すること。

例 1) 山田太郎 1995「遺跡の活用と整備について」『遺跡学研究』第1号 p.p.20-55

2) 鈴木花子 1999『文化財政策と日本の遺跡』増淵書院 p.p.135-137

3) Sebba,R 1991: The landscapes of childhood: ABC Press,London, p.p.12-15

＊**要旨**：研究論文には要旨を添付すること。

〈和文要旨〉

A4横書き、300～400字程度で、論文の目的・方法・結果・結論などを的確に表現したものとし、得られた定性的・定量的な知見を盛り込むこと。

〈英文要旨〉

邦文要旨を的確に表現した200単語程度の英文とすること。

投稿締切日

『遺跡学研究』への投稿については、毎年4月30日までに「投稿整理票」を提出の上、本文を5月31日までに提出する。

日本遺跡学会誌「遺跡学研究」 投稿整理票		投稿月数	年	月	日
巻	号	頁	表	裏	表
投稿区分	表上り頁数				
投稿分野	原論・調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他				
目 次					
要 旨					
キ ー ワ ー ド					

※1 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。
 ※2 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。
 ※3 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。
 ※4 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。
 ※5 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。
 ※6 「原論」は、調査・技術・調査・管理・応用・事例・その他に分類してください。